

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～技術・家庭（家庭分野）～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資質・能力をバランスよく育むために、どのような構成になっているか。 ・ 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、どのような構成・配列上の特徴があるか。 	<p>(1)中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養</p> <p>(2)中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること</p> <p>(3)中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること</p>
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科等及び教科内の学習内容との相互の関連を図るための内容の取扱いや分量はどのようであるか。 ・ 小・中学校の系統性を明らかにし、中学校段階として、生活に应用・発展できるもの、生活における工夫・創造につながるものになっているか。 	
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を見いだして課題を設定し、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す一連の学習過程がどのように位置付けられているか。 ・ 学びを深めるための学習活動や資料として、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようであるか。 	
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の興味・関心を喚起し、学習を広げるため、一人一人に応じた学習課題はどのように扱われているか。 ・ 異なる考えを組み合わせることでよりよい学びを生み出すため、他者との協働はどのように扱われているか。 	<p>第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） 施策Ⅱ「未来を創る確かな学力と実践力」の育成</p> <p>(1)Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26）</p> <p>(2)Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26）</p> <p>(3)Ⅱ-9 ICTを利活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）</p>
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活の課題と実践」の内容はどのように配置されているか。 ・ 主体的な家庭実践を促すために、どのような課題例や実践例が取り上げられ、分量はどのようであるか。 	
	(3) ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な学習を進めるための二次元コードは、どのような内容が取り上げられ、分量はどのようであるか。 	
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の大きさ、重量、ページ数はどのようであるか。 	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいやその他の特性の有無にかかわらず、生徒に読みやすいものになっているか。（書体、配色、レイアウト等）。 	
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化、安全、衛生、防災、消費生活・環境に関わるマークの分量や指導内容はどのようであるか。 	